

\ 古河市の /

# 輝く女性事例集

*Heart warming*

pick up 01

青木 知佐さん  
青木酒造株式会社



pick up 02

鈴木 解さん  
仁連宿ほしいも



pick up 03

荻野 美恵子さん  
荻野牧場



pick up 04

天野 菜々子さん  
KREIS beauty



ごあいさつ

## 誰もが自分らしく活躍できる社会に

我が国は、急速な少子・高齢化に直面しており、古河市においても、今後、人口減少が見込まれるなか、女性の就労および活躍の推進は喫緊の課題となっています。

今回、事例集にご登場いただきました7名は、女性ならではの発想力・アイデアと挑戦する勇気をもって、ビジネスを成功させた女性の皆さんです。自ら課題や困難に挑戦し、さまざまな分野でご活躍されており、ライフステージに合わせて、自分らしさを生かし、仕事を作り出し、自分らしい活躍の選択をされています。

どうぞ、彼女たちにエールをお贈りいただくとともに、ぜひ、活用できる要素を見つけ、女性はもちろん、市内のすべての方々が生き生きと働き、ご活躍されることを期待しております。

市は、誰もが活躍できる社会、働きやすい環境づくりに努めます。

皆さん、挑戦しましょう、活躍しましょう、自分らしく生き生きと輝き続けるために。

令和5年3月



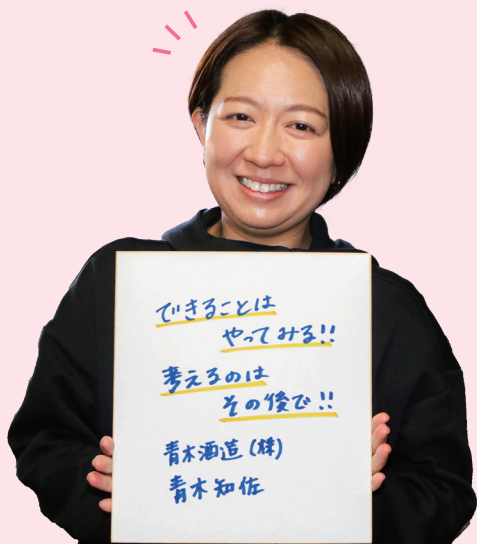
副市長

近藤かおる

## 目次

# 古河市の輝く女性事例集

- 青木 知佐さん 蔵人 青木酒造株式会社 . . . P3
- 鈴木 解さん 新規就農者 仁連宿ほしいも . . . P4
- 荻野 美恵子さん 女性農業士 荻野牧場 . . . P5
- 天野 菜々子さん ネイリスト KREIS beauty . . . P6
- 金子 典子さん ローカルイノベーター (一社)アユミル . . . P7
- 塚田 恵子さん 野菜ソムリエ ファーム塚田 . . . P8
- 岡部 里子さん エステティシャン リラクゼーションルーム夢雲 . . . P9



interview

蔵人

あおき ちさ  
青木 知佐さん

\ 会社HP /



(青木酒造株式会社 専務取締役)

プロフィール

24歳の時に、家業を手伝うため実家に戻りました。現在は蔵人の一員として業務に励み、私生活では結婚・出産を迎え、充実した日々を過ごしています！

### この仕事に就いた経緯

酒蔵の長女に生まれ、大学卒業後は看護師として病院で勤務していました。学生の頃は家業を意識したことはありませんでしたが、社会人になり周囲から「江戸時代から続く酒造なんてすごい」と言われるうちに、徐々に意識が芽生えていきました。

勤め始めて2年が過ぎた頃、母から「蔵を手伝ってはどうか」と言われ「将来家業を継ぐ弟の力になりたい。やるなら早いうちに」と思い、翌日には上司に退職の意向を伝えました。看護師の資格があったからこそできた決断だったと思います。

### 蔵に入ったことで変わったこと

何かを変えようと思い、この世界に入ったわけではありません。勤め始めたタイミングと重なって「御慶事」が連続して各コンテストの上位に入賞するようになり、メディアに取り上げられることも増えました。

SNSやメディア対応、試飲会や販売会でのPR、マルシェへの参加等をこなしながら、日本酒を若い世代や女性にも手に取っていただけるよう、日々工夫を重ねています。



### 会社の取り組み

20代の人だけでお酒を造る「<sup>に</sup>二才の<sup>からし</sup>醸」プロ



プロジェクトに2018年に参加。若者の日本酒離れが進む中、その魅力を知ってほしいと幸手市の酒造から始まった異例の取り組みで、私は新潟市の酒造から銘柄譲渡を受けました。

20代の学生や一般の方を巻き込み、田植え・仕込み・デザイン作成・販売をし、2021年に青木酒造から佐渡島の酒造に引き継ぎました。

また、現在は酒蔵見学や酒米を育てている農園とコラボしたガストロノミーイベントなどにも取り組んでいます。

### 働く女性へひとこと

深く考えすぎずに、時には勢いで行動する事も必要。直感とその時の流れを大切に。なるようになります！



interview

新規就農者

すずき とき  
鈴木 解さん

会社HP /



(仁連宿ほしいも)

プロフィール

沖縄県出身。大学進学を機に上京し、2015年に古河市に移住。2020年に新規就農者に認定され現在は干し芋農家として5年目を迎えます。

古河市へ移住したきっかけ

いずれは犬を飼って自給自足のような生活をしたかと思ひながら都内で暮らしていた頃、当時同棲していた現在の夫に「長年空き家になっている祖父の家を残したい」という旨を打ち明けられました。彼の意向を受け実際に訪れたその家は、旧日光東街道の本陣であった仁連宿という築400年近い古民家でした。一目見た時にこの家が持つさまざまな可能性に創造力が刺激され、2人でここで生活を作っていくと移住を決めました。

就農したきっかけ

仁連宿という家を生かして生活と仕事を作ろうと考えて日々試行錯誤を繰り返す中で、ある日近所に住む70代の友人が「干し芋を作るからおいで」と誘ってくれたのです。その時、初めて完全天日干しの干し芋作りを見ると共にその味を知りました。

芋を蒸して干すだけの素朴な干し芋は私たちのライフスタイルとも親和性が高い存在に思え、ちょうど家庭菜園でさつまいもを作っていたこともあり、これを仕事にしたいと考えました。

色紙の言葉を選んだ理由

「あんたがわかるさ」という言葉は、私が宮古島の祖母に人生相談した時に言ってくれた言葉です。これは「自分で考える」という突き放した冷たい言葉ではなく「あんたが思うように自分の意思を表現して好きなようにやってごらん」という意味の宮古島の言葉です。この言葉から祖母の私に対する深い愛と信頼が感じられ、お守りのように大切にしている言葉です。



朝日新聞社提供

仕事の魅力

一年かけて栽培したさつまいもを、その年の集大成としておいしい干し芋に加工してお客様に直接お届けできること、そしてじかに感想を頂けることはとてもうれしいです。天日干しのため、蒸かした芋がビニールハウスの中で陽に照らされ輝き、日々透明感を増していく様はとても美しく毎シーズン感動します。自分たちで作った仕事なので、機械化したり事業を大きくしていく事だけが目標ではありません。日々仕事で感じる充足感を大切に、買ったださった方の印象に残る干し芋をこれからも追及していきたいです。



働く女性へひとこと

私と夫はイメージする生活スタイルからの仕事を作ってきました。人の働き方はこうでなければならない、というものはないので望む生活スタイルに合わせて仕事を作る道もあると思います。どこにいても商圏は世界なのが今の時代のいいところです



interview

女性農業士

おぎの み え こ  
荻野 美恵子さん

(荻野牧場)

プロフィール

結婚を機に常陸大宮市から移住し、女性農業士として酪農に従事しています。性格をひとことで表すと「負けず嫌い」です！

就農のきっかけ

茨城町にある県立農業大学校の学生時代に、酪農業が家業である夫と出会ったことが就農するきっかけです。結婚を機に常陸大宮市から古河市に移住しました。

仕事内容

乳牛を90頭飼育していて、私の仕事は牛舎での餌やりとベッド掃除など、牛のお母さんのような役目をしています。ベッドをきれいにすることで、乳房炎が予防できます。掃除を怠ると、乳房炎になってしまうので、大切な仕事です。また、この仕事を通して、毎日の体調や発情を見極めていきます。

そのほか、牛の餌でもある牧草やトウモロコシの栽培なども行っています。牛の餌はできるだけ自給飼料で賄いたいと考えているからです。

仕事では、さまざまな機械を操作します。機械を操作することに男女差は無いため、自分でできることは自分で行います。



趣味や私生活の過ごし方

長年ヒップホップダンスをやっていて、3人の子どもと一緒にダンススクールに通っています。しかし、最近はコロナの影響や仕事も忙しくて通えないので、落ち着いたら再開したいです。生き物を相手にした仕事なので、なかなか休日が取れませんが、毎日が楽しいです。



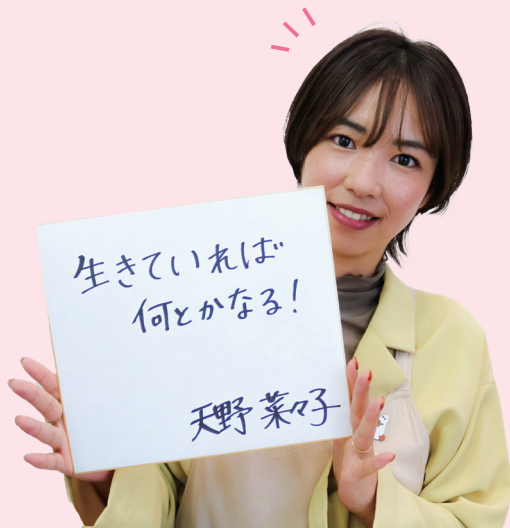
クリアしたい課題

今は次々にやることがあり、余裕がありません。月に1回、酪農ヘルパーさんに来てもらい休みますが、その他はお盆もお正月も休みが無いため、人手不足が課題です。

また世界情勢の影響を受け、酪農家は危機的状況に置かれています。世界情勢の正常化が進み、一日でも早く普段の日常を取り戻したいです。

働く女性へひとこと

農業の分野は機械化が進み、女性の活躍できる幅が広がっています。あきらめず粘り強く、忙しい日々の中にも楽しみを見つけながら頑張りましょう！



interview

## ≡ ネイリスト

あまの ななこ  
天野 菜々子さん

\ instagram /



(KREIS beauty 代表取締役)

プロフィール

1歳の頃に旧三和町へ転入。ネイルが好きだったので社会人になってから資格を取得し、職業にしました。今では天職だと思っています！

## | ネイリストを目指したきっかけ

母が看護師で、自分も何か資格を取りたいと考えようになりました。

ネイルが好きだったのでネイリストの資格取得を目指すようになり、仕事をしながら宇都宮まで通い21歳の時に資格を取得しました。

## | 自分のお店を持った経緯

資格を取得した後は趣味の範囲を少し超える程度でした。24歳の時にネイルサロンに転職し、間もなく自分の方向性が見えてきたので、系列サロンの2階をお借りして起業しました。

その5年後、移転を機に店舗を構えて「KREIS beauty」の代表として経営とネイリストの仕事をしています。

最初はネイル、ヘア、まつ毛から始めましたが、今ではエステやドライフラワーの取り扱いもするようになり、業種の幅を増やしています。社員も11人になりました。



## | 仕事のやりがいを感じる時

地元で仕事を続けていると、何年も通ってくださるお客様が多く、その人たちの成人式や結婚、出産など、人生の節目に立ち会えてうれしく感じます。ブライダルネイルを施術する際は感動で泣きながらネイルをしたこともあり、お客様と人生を一緒に歩んでいる気がして、自分の存在意義も感じます。



## | 子育てと仕事の両立

産後4カ月で仕事に復帰し子どもを保育園に預けたのですが、発熱などの時にそばにいてあげられないことが多く、悩みました。美容師の夫が一度仕事を辞めて家事を引き受けてくれたことや、スタッフの支えもあり、続けることができました。

お店を構えた理由の一つは、子どもが仕事場の近くにいられるよう、子育てしながら仕事をする事の理想を求めた形でもあったのです。

## 働く女性へひとこと

たいていの事は生きていればどうにかなる。失敗してもやり直せるし、やり直さなくても良い。続けていれば何とかなるし、やめないことが成功への近道。最終的なゴールを決めなくても、その時精一杯頑張っただけで幸せや喜びを感じられたらそれでOKだと思います



interview

ローカルイノベーター

かねこのりこ  
金子典子さん



(一般社団法人アユミル 代表取締役)

プロフィール

古河市に生まれ、大学では油画を専攻していました。子どもは3人。イベントに参加したり、体験する事が好きです！

仕事内容

イベントや研修会の受託、販促物やイベント用品のデザインや制作のほか、ホームページの運営・管理、各種会議への参加など多岐にわたります。

パッケージのリブランディングをお手伝いしたお菓子工房さんが「いばらきデザインセレクション2022」に選定されたことも励みになりました。

行政、団体、個人に関わらず、何かをしたいことを手助けする。

思いをどう伝えるか、見せ方や方法を工夫し、見える化して受け手に届くようにする。そのお手伝いをしています。



なかなか夢を持ってなかったり進学や就職に迷う若い世代に、世の中にはもっといろいろな世界があることを知ってもらうために地域とつながる機会を作っていきたいです。そうすることで古河という街に愛着を持ち、何かにチャレンジしていく場所が私を作っていけたらと思っています。

仕事で印象に残っていること

2019年の「いばらきデザインセレクション」に「お休み処坂長」が選定されたことです。歴史的な価値のある建物を地域の人たちの交流の場として活用するため、誰もが思いを実現できる場所づくりを行いました。今でも自分の糧になっている出来事の一つです。

これからの夢や目標

古河第二高等学校や三和東中学校で「仕事について」の話をしました。自分の好きなことから将来の自分を思い描くことが仕事にもつながっていくことをグループワークを通じて伝えました。

働く女性へひとこと

どんな仕事をしていても人生を豊かにするのは自分次第だと思っています。そのためには健康第一！ 仕事に一生懸命になることも大切ですが、ご自身の心と体にも目を向けて時々ケアしてください





interview

## 野菜ソムリエ

つかだ けいこ  
塚田 恵子さん

instagram /



(ファーム塚田)

プロフィール

会社勤めから農家に転職しました。農業の傍ら料理や花野菜のブーケ教室に通い自分の時間も楽しんでいます！

### 就農したきっかけ

山梨県出身の夫と埼玉県に住み、仕事は2人とも東京に通っていましたが、将来について話し合った結果、私の実家を継ぐことを決めて古河市に移住したのがきっかけです。

夫婦で就農しており、開業届を出してから今年で6年目になります。

### 栽培している野菜

最初は日本でも一般的な野菜を栽培していました。その中で、少しずつ珍しい野菜も作り始め、今はヨーロッパ野菜を中心に約140種ほど育てています。

野菜ソムリエとして見たことも無いような野菜の魅力を紹介したいです。



### 販売で工夫していること

プンタレッタ、アーティチョークなどの耳慣れない名前の野菜を、まずは手に取っていただかなくてはなりません。そのために野菜の特徴や作り手のこと、野菜に合った調理法を知ってもらおうと、工夫を凝らしたシールやポップを作りました。

販売は「道の駅まくらがの里こが」や通販に加え、月1回東京でもマルシェを行っています。コロナ禍で客層が変わる中、新しい出会いや発見もあり日々努力しています。

また社会貢献の一環として、市内の子ども食堂にも野菜を提供しています。



### 夫婦間の役割分担

私は主に品種の選定や生育管理を担当しています。おいしい野菜を作るため、作物別にいろいろな堆肥や肥料を使い分けたり、自作の液肥を作ったりするなど日々勉強です。夫は畑での作業や農機の運転に加え、販売活動(InstagramやFacebook、ホームページ)を担当し、販売シールやPOP作りなどにも携わっています。

野菜の収穫は別々に行うこともありますが、情報は共有し、おいしい野菜づくりを心掛けています。

### 働く女性へひとこと

どんな経験でも無駄なことは無い。そこに生まれる人間関係とか、違う分野であっても巡り巡って絶対に自分のプラスになる



interview

エステティシャン

おかべ さとこ  
岡部 里子さん

(リラクゼーションルーム夢雲 代表)

プロフィール

27年間勤めた会社を45歳で退職しました。資格を生かした職業をと考え、退職後にエステの資格を複数取得。エステサロンを開業しました！

### エステサロンを開業したきっかけ

以前に勤めていた会社では、40代で自分の役割に疑問を感じて退職しました。長く勤めていましたが、自分の可能性がそこで終わりだと思いたくなくて、全てを捨てたとしても唯一の存在として活躍できるものを探そうと思ったのです。

その後、自分の好きなエステの技術を身に付け、さまざまな資格を取得しました。それを生かして「雲の無い空のように、晴れ晴れした気持ちをお客様に届けたい」という思いを込めて「リラクゼーションルーム夢雲」を開業しました。

### 仕事をする上で影響を受けた人

夫は良き理解者でありアドバイザーです。「人からの評価を望むなら、自分に力を付けること」「前職と同様の収入を得る覚悟をもたなければ」と諭されました。夫の言葉に刺激されてさまざまな資格を取得し、お客様の要望に合わせた施術を提供できるよう勉強しました。公私ともにかげえのないパートナーです。



### 仕事で印象に残っていること

市から講師を依頼されたセルフリンパマッサージの講座は、地域の人々と触れ合いながら健康法を伝えることができたので、とても印象に残っています。自分の技術を伝える事はやりがいもあり、とても楽しいです。



### 地域のためにできること

昨年4月から有志と共に子ども食堂を始めました。子どもたちが親以外の大人と触れ合う場所を作り、チームで幸せの種をまきたいと思い活動しています。

月1回の開催ですがメニューや子どもが楽しめるイベントを考え実施しています。子どもから教えられることも多いですね。

働く女性へひとこと

自分の可能性は行動してみることで気付くことがあります。何事もまずは行動に移してみてください！！

*Towards a society where women shine*

# ◆ 女性が輝く社会へ ◆



好きなことを仕事にする  
好きなまち「古河」に住む  
起業・子育て・役割分担  
ヒントはこの中に

## pick up 05

金子 典子さん  
一般社団法人アユミル



## pick up 06

塚田 恵子さん  
ファーム塚田



## pick up 07

岡部 里子さん  
リラクゼーションルーム夢雲



### 問い合わせ

古河市役所 人権推進課

郵便：306-0291  
住所：古河市下大野2248  
電話：0280-92-3111  
発行：令和5年3月

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

